

■ 南国市国民健康保険事業の状況 ■

国民健康保険は、すべての国民が何らかの医療保険に加入する国民皆保険制度の中核として、社会保障制度の重要な役割を担っています。近年、国保加入者の増加、高齢化率の上昇や医療の高度化などにより、医療費は増大しています。一方で、国の三位一体改革に関連して国庫負担の見直しなど国保財政の枠組みが大きく変わったこと、また、今日の経済情勢などを受けて国保税の収納率の伸び悩みなど、財政状況は大変厳しくなっています。

平成16年度決算後の財政調整基金の残高も残り少なくなり、このまま財政状況の悪化が続けば近い将来国保税率などの見直しの検討も必要な状況となってきました。

* 財政調整基金：家計でいう貯金。財政不足時などに取り崩して財源にします。

平成15・16年度決算状況

平成15年度、16年度の決算状況は、平成15年度では、歳入総額43億8,742万円、歳出総額43億6,741万4千円で、差引額が2千万6千円の黒字。平成16年度は、歳入総額46億1,266万3千円、歳出総額46億725万4千円で、差引額が540万9千円の黒字

となりました。しかしながら、これは財政調整基金を平成15年度は8,686万円、平成16年度では9,266万円の取り崩しを行ったことによるものです。基金からの繰入を行わなければ、実質的には平成15年度、16年度の2カ年は赤字決算の状況です。

歳入（単位：千円）

科目	15年度決算額	16年度決算額	前年比%
保険税	1,390,636	1,394,239	100.3
国庫支出金	1,720,506	1,925,425	111.9
療養給付費交付金	738,880	731,484	99.0
高額医療費拠出金県負担金	20,013	20,963	104.7
共同事業交付金	62,253	85,513	137.4
一般会計繰入金	329,302	340,609	103.4
基金繰入金	86,860	92,660	106.7
その他収入	38,970	21,770	55.9
歳入合計	4,387,420	4,612,663	105.1

歳出（単位：千円）

科目	15年度決算額	16年度決算額	前年比%
総務費	89,388	82,010	91.7
保険給付費	2,852,982	3,047,872	106.8
老人保健拠出金	1,126,986	1,143,019	101.4
介護納付金	190,362	240,105	126.1
共同事業拠出金	80,052	83,852	104.7
保健事業費	13,367	8,647	64.7
基金積立金	190	166	87.4
その他支出	14,087	1,583	11.2
予備費	0	0	
歳出合計	4,367,414	4,607,254	105.5

被保険者の状況

平成16年度は平成15年度に比べて、総数で291人増の1万9,217人で若人被保険者と退職被保険者が増加傾向です。

被保険者区分	平成15年度			平成16年度		
	被保険者数(人)	構成比%	前年度比増減数(人)	被保険者数(人)	構成比%	前年度比増減数(人)
若人	10,441	55.2	384	10,615	55.2	174
老人	6,055	32.0	126	5,860	30.5	195
退職	2,430	12.8	209	2,742	14.3	312
総数	18,926	100.0	467	19,217	100.0	291

被保険者の分類

若人...老人及び退職以外

老人...老人保健法による医療受給者

退職...老齢または退職を支給事由として年金が受給可能な国保の被保険者で、年金加入期間が20年以上（または、40歳に達した月以降の加入期間が10年以上）である者およびその扶養者

国保は相互共済で、保険給付に必要な経費は国保税などで賄われています。

医療費の推移

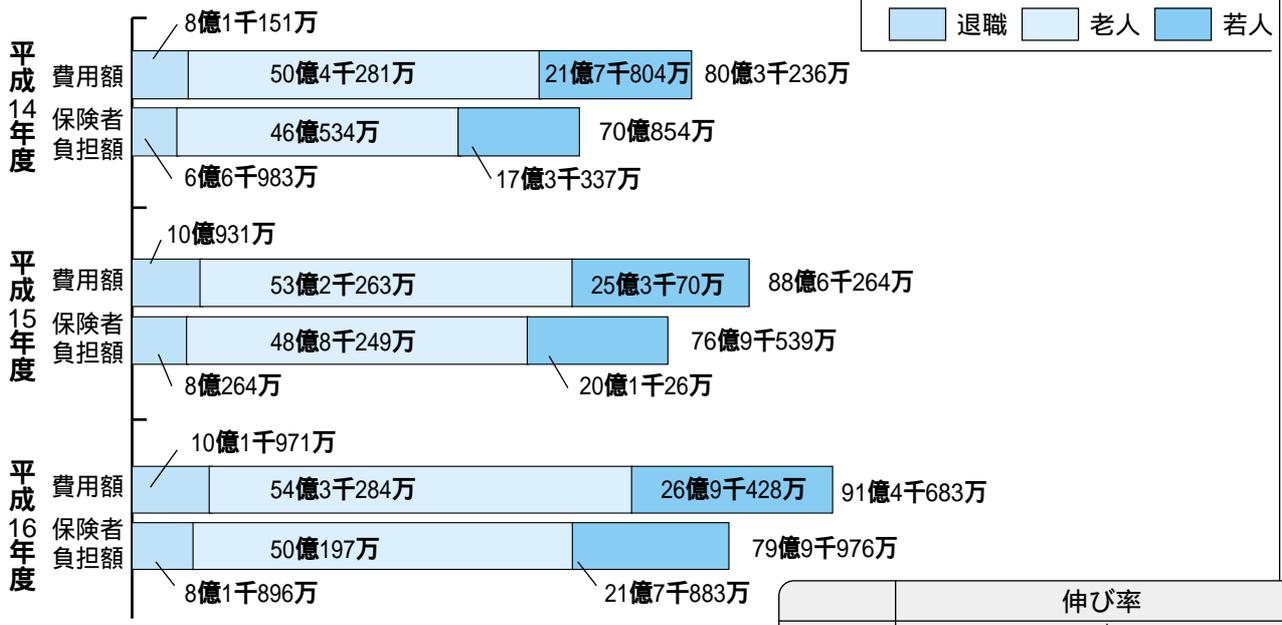
本市の医療費は年々増加傾向にあります。それは、人口10万人当たりの病床数が2,989.2床で全国平均の約3倍と大きく上回っていることや高度医療機器の充実など医療内容が高度化していることなどが原因です。

高医療費の要因を分析した結果、若人、退職、老人被保険者ともに入院の医療費が高く、特に入院の受診率は全国平均の1.3倍～1.5倍となっています。

平成15年度医療費（一人当たり）

被保険者区分	入院の診療費	入院外の診療費	全国比(倍)	
			入院	入院外
若人	103,745円	82,437円	1.4	1.1
老人	454,040円	254,548円	1.4	1.1
退職	170,694円	151,320円	1.4	1.0

医療費の状況（療養給付費・療養費・高額療養費 / 単位：円）



大切な医療費を有効に使うことが重要です。被保険者のみなさん一人ひとりが、健康に対する意識を高めるとともに重複・頻回受診などを行わないよう注意し、適正受診に努めましょう。

被保険者区分	伸び率			
	費用額		保険者負担額	
	H14-H15	H15-H16	H14-H15	H15-H16
若人	16.2%	6.5%	16.0%	8.4%
老人	5.5%	2.1%	6.0%	2.4%
退職	24.4%	1.0%	19.8%	2.0%
計	10.3%	3.2%	9.8%	4.0%

予防対策で健康づくり

病気の予防 3つの対策

- 1次予防...健康を増進し発病を予防
- 2次予防...病気を早期に発見・治療
- 3次予防...病気後の治療・機能回復・機能維持

「1次予防」対策は、一人ひとりが健康的な生活習慣を自分で確立することが基本となります。自分の生活習慣の点検を行い問題点の改善に取り組みましょう。

自分の健康は自分で守りましょう！

気をつけよう 生活習慣病

生活習慣病は、全国における死亡原因の約62%、医療費の約36%を占めています。

生活習慣病

肥満症、高血圧症、高脂血症、がん、糖尿病、糖尿病の合併症（失明、腎不全など）、脳卒中（脳出血、脳梗塞）、心臓病（心筋梗塞、狭心症）、骨密度の低下（骨粗しょう症）など



国保税は制度を支える土台です。

納め忘れなどで国保税が未納にならないよう気をつけましょう。